

家畜衛生 いずも

R元年度 No.2

2020. 1月



島根県東部農林振興センター出雲家畜衛生部(出雲家畜保健衛生所)

〒699-0822 出雲市神西沖町 918-4 TEL(0853)43-7900 FAX(0853)43-2801

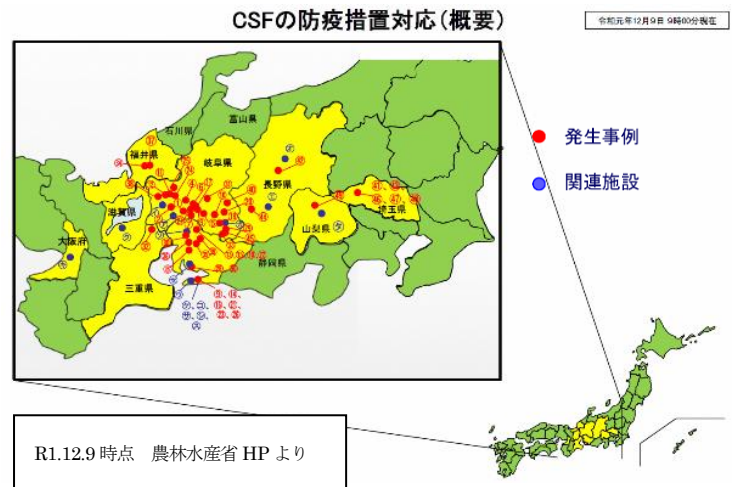
■ 伝染病発生状況

豚熱(CSF)

平成 30 年9月、国内では 26 年ぶりに岐阜県で発生したCSFは、これまでに 51 例の発生(防疫措置対象 9 府県 86 農場、4 と畜場、152,388 頭)が確認されています(令和元年 12 月 18 日現在)。

また、12 県で野生いのししからCSF陽性事例が確認され、確認地域では経口ワクチンの散布が実施されています。

10 月 15 日のCSFに関する特定家畜伝染病防疫指針の一部改正により、予防的ワクチン接種の規定が追加され、ワクチン接種推進地域として定められた 20 県で、飼養豚へのCSFワクチン接種が実施されています。



鳥インフルエンザ

渡り鳥が多数飛来するシーズンとなりました。

国内では 11 月に愛媛県で採取された野鳥の糞便から、今シーズン初の低病原性鳥インフルエンザウイルス(H7N7亜型)が検出されました。以降、野鳥の糞便調査において、栃木県、奈良県ではH5N3亜型、島根県安来市では、H5N2亜型の低病原性鳥インフルエンザウイルス検出事例がそれぞれ報告されています。



各家畜飼養農場におかれては、野生動物の侵入防止対策や消毒の徹底など、引き続き飼養衛生管理基準を遵守され、異常家畜を発見されましたら、直ちに家畜保健衛生所までご連絡をいただきますようお願いいたします。

■ 定期報告書の提出をおねがいします

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの国内での発生を受け、平成23年4月家畜伝染病予防法が改正され、愛玩目的も含めて家畜を飼養(所有)している方は、**定期報告書**(飼養頭羽数など)を毎年、県(家畜保健衛生所)に報告していただくことになりました。

今年も、報告の時期となりましたので、下記のとおり提出をよろしくお願いいたします。

1. 報告対象となる家畜

牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし

家さん(鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥)

2. 報告内容

令和2年2月1日現在の飼養状況

※詳しくは、同封の資料をご覧ください。

3. 報告期限

令和2年3月13日(金)

4. 提出方法

出雲家畜保健衛生所に提出(持参、郵送、ファックス)してください。

または、農協を経由して提出もできますので、畜産担当窓口を持参してください。



■ 飼養衛生管理基準巡回

飼養衛生管理基準は、畜産農家の皆さまが日常の飼養管理において守っていきべき項目をまとめたものです。定期報告書の提出に併せて、飼養衛生管理基準の遵守状況も提出いただいております。詳しくは、同封の資料をご覧ください。この機会に、ご確認をお願いいたします。

飼養衛生管理基準は大きくまとめると以下のような内容です

- ① 家畜防疫に関する最新の情報を確認しましょう
- ② 衛生管理区域を設定しましょう
- ③ 衛生管理区域への病原体の持込みを防止しましょう
- ④ 野生動物による病原体の侵入を防ぎましょう
- ⑤ 衛生管理区域の衛生状態を保ちましょう
- ⑥ 牛の健康観察を行いましょう
- ⑦ 埋却のための土地を確保しておきましょう
- ⑧ 農場訪問者や家畜の診療の記録を作って保存しておきましょう

なお、家畜伝染病予防法に基づき、今年度も当所の職員が皆さまの農場へ直接訪問し、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認させていただいております。慌ただしい時期ではありますが、まだ訪問させていただいてない農場におかれましては、対応をお願いいたします。

■ 5条検査について

島根県では、家畜伝染病予防法第5条に基づき、牛のヨーネ病検査を実施しています。5年で県内全戸を検査する計画で検査を実施しており、今年度は、雲南市(旧大東町、旧加茂町、旧木次町および旧三刀屋町の区域)および出雲市(旧斐川町の区域)が対象です。雲南市については検査が終了し、全例陰性でした。斐川町については検査を実施中です。

令和2年度は、以下の通り検査を実施する予定です。対象地域の畜産農家および関係機関の皆様には、ご協力をお願いいたします。

●令和2年度 5条検査は…

対象地域：出雲市(旧出雲市の区域)、飯南町(旧頓原町の区域)

対象牛：24ヵ月齢以上の搾乳牛と繁殖牛等

検査項目：ヨーネ病抗体検査(採血をして検査します)

検査費用：1頭あたり800円



■ ワクチン接種で異常産を予防しましょう！

令和元年9月、県内でアカバネウイルスの侵入が確認されました。

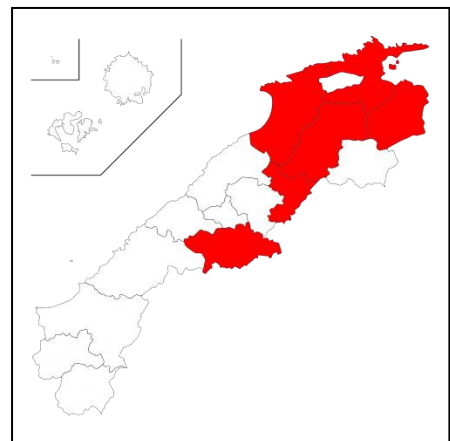
アカバネウイルスは、ウシヌカカ等の吸血昆虫により媒介されることから、国内では主に初夏から秋に流行します。

アカバネウイルスは、妊娠牛に感染すると、流死産や、出生子牛に様々な先天異常が生じます。具体的には、四肢関節のわん曲や、大脳や小脳の欠損などで、出生子牛は起立不能、盲目、神経症状などを示します。稀に成牛に脳脊髄炎が生じることもあります。

このように、子牛生産農家に重大な影響を及ぼすアカバネウイルスですが、母牛へのワクチン接種により異常産の予防が可能です。

ワクチンには、アカバネ病予防ワクチンと、異常産4種混合ワクチン(アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、ピートンウイルス感染症)があります。

吸血昆虫が活動する時期に備え、毎年春にワクチンを接種し、アカバネ病等の異常産を予防しましょう。



島根県内のアカバネウイルス抗体陽転地域

(令和元年12月現在)



脳炎により起立不能の子牛



四肢関節のわん曲

■ 島根県種畜共進会が開催されました。

令和元年度島根県種畜共進会が10月19日に島根県中央家畜市場で開催されました。この日、県内各地から肉用牛47頭、乳用牛22頭が出品され、日頃から取り組んでおられます愛牛の改良の成果を競いました。

当部管内からの出品牛の主な成績は、第1部の肉用種牛で、大東町の渡部学さん出品の「こうめ」号が第3区若雌区の主席に選ばれました。また飯南町の澤田秀樹さん出品の「さわほし」号、「ほしゆり」号が第5区母系牛群の主席に選ばれました。さらに、各区の主席から選ばれるグランドチャンピオン戦で、澤田さんが次席、渡部さんが3席となりました。

第2部の乳用種牛で、第1区(未経産 A)で出雲農林高校出品の「IAHS ウイング ヒル キューギ」号、第2区(未経産 B)で、出雲市の河村保志さん出品の「リバービレッジ ドアマン フランテイスコ A ET」号、第3区(未経産牛 C)で出雲市の川上哲也さん出品の「アツプストリーム モントレー 464 セレジエイラ」号、第4区(未経産牛 D)で出雲市の長迫康治さん出品の「NF ゲインジーン」号、第6区(経産牛 B)で出雲市の永瀬哲也さん出品の「IDEE サンチエス ルイ ET」号がそれぞれ主席に選ばれました。さらに、永瀬哲也さん所有の「IDEE サンチエス ルイ ET」号は昨年に引き続き、グランドチャンピオンに輝きました。

入賞された皆様、おめでとうございます！



澤田さんと出品牛



「IDEE サンチエス ルイ ET」号

■ 第12回全国和牛能力共進会にむけて

開催テーマ「和牛新時代 地域かがやく和牛力」

第12回全国和牛能力共進会が令和4年10月に鹿児島県で開催されます。

出雲家保では現在、肉牛区(第6区～第8区)について取り組んでおり、平成30年度から今年度12月までに管内12頭の供卵牛から採卵を終えました。これには肥育素牛となる雄子牛を効率よく生産するため、久茂福、百合五月、百合久勝の性選別精液 Sort90♂を使用しました。

その後、各地区協議会で選定された受卵牛を対象に、発情同期化処理を実施し、採取した受精卵を用いて関係機関と連携し管内約130頭に受精卵移植を行ったところです。

今後2月頃に妊娠鑑定を実施する予定です。受胎した牛については、本年10月頃から順次候補子牛の出産が始まりますので、関係機関と協力して、出生した子牛が優良な肥育素牛となるよう飼育体系に応じたフォローアップ、生産農家へのバックアップに努めてまいります。

本年もよろしくお願ひいたします

